

## 岩手県環境保健研究センター研究発表目録(平成20年度)

### 1 著書

発表者(発表年)・書名・発行・頁

該当なし

### 2 学術雑誌原著論文

発表者(発表年)・題目・掲載紙・巻(号)・頁

- Liu W\*, Jin Y\*, Quan X, Sasaki K\*, Saito N, Nakayama SF\*, Sato I\*, Tsuda S\*(2009)・Perfluorosulfonates and perfluorocarboxylates in snow and rain in Dalian, China. (中国・大連における雪及び雨中のペルフルオロスルフォネートとペルフルオロカルボキシル化合物)・Environ Int、35(4)・737-742
- Ju X\*, Jin Y\*, Sasaki K\*, Saito N(2008)・Perfluorinated surfactants in surface, subsurface water and microlayer from Dalian Coastal waters in China. (中国・大連沿岸水による表層・準表層水およびマイクロ層中の有機フッ素界面活性剤) Environ Sci Technol, 15;42(10)・3538-3542
- Kawamoto K\*, Nishikawa Y\*, Oami K\*, Jin Y\*, Sato I\*, Saito N, Tsuda S\*. (2008)・Effects of perfluorooctane sulfonate (PFOS) on swimming behavior and membrane potential of paramecium caudatum. (ゾウリムシ尾状核の遊泳行動および膜電位に関するペルフルオロスルフォネート(PFOS)の影響)・J Toxicol Sci, 33(2)・155-161
- 小山田智彰(2008)・地域の生物資源(希少植物・在来種)に着目、生徒と試行錯誤を重ねる研究とその教育力・農業教育・76・36-46
- 小山田智彰(2008)・岩手・初夏の蘭、そしてアツモリソウ・趣味の山野草・Vol.338・20-25
- 畠山えり子、梶田弘子、菅原隆志、高橋悟(2008)・ELISA法による茶葉中のクロロタロニルの残留分析・日本農薬学会誌・33(4)・387-392
- 梶田弘子、阿久津千寿子、畠山えり子、小向隆志(2008)・LC/MS/MSによる乳中のアミノグリコシド系抗生物質の一斉分析・食品衛生学雑誌・49(3)・189-195
- 梶田弘子、畠山えり子(2008)・LC/MS/MSによる畜水産食品中の動物用医薬品一斉分析・食品衛生学雑誌・49(6)・381-389
- 佐々木陽 「各種炭化物による水中微量有害物質の吸着」 木質炭化学会(2009) 3月号
- 小山田智彰・平塚明\*・間山秀信(2008)・アツモリソウの種子発芽による苗の育成に関する研究・自然環境復元研究・第4巻・43-50
- 小山田智彰・平塚明\*(2008)・岩手における地域資源としてのアツモリソウ品種開発に関する研究・総合政策・10巻2号・225-236
- 小山田智彰・平塚明\*(2008)・よみがえる南部ムラサキ 胚培養によるムラサキの増殖・薬用植物研究・30巻1号・14-20
- 山内貴義, 佐藤宗孝, 辻本恒徳, 青井俊樹 岩手県のツキノワグマ保護管理に関わるモニタリング調査とその課題, 哺乳類科学, 2008. 48(1):83-89.
- 山内貴義, 齊藤正恵\* 岩手県におけるヘア・トラップの実施状況と今後の課題, 哺乳類科学, 2008. 48(1):125-131.
- Masae Saito\*, Kiyoshi Yamauchi, Toshiki Aoi\*. Individual identification of Asiatic black bears using extracted DNA from damaged crops. Ursus 19(2). 2008:

### 3 総説・報告等

発表者(発表年)・題目・掲載紙・巻(号)・頁

- 前田琢(2008) 岩手県の絶滅危惧種保護の取り組み. ワイルドライフ・フォーラム, 13:52-53.
- 蛇口哲夫、高橋知子、高橋雅輝(2008)・カキのノロウイルス汚染に係る浄化槽・河川からの影響について平成20年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安心・安全確保推進研究事業)「食品中のウイルスの制御に関する研究」平成20年度 総括・分担研究報告書 125頁
- 齋藤憲光、原田浩二\*(2008)・PFOS・PFOA 物性、製造と分析法、環境技術、Vol.37、306-310

#### 4 学会等での口頭発表

発表者(発表年)・学会等名称・題目・開催都市名・年月
畠山えり子、阿久津千鶴子、梶田弘子(2008)・第95回日本食品衛生学会・LC/MS/MSを用いた茶中の残留農薬一斉分析・東京都・2008年5月
梶田弘子、岩淵香織、藤井伸一郎、畠山えり子(2008)・第95回日本食品衛生学会・LC/MS/MSによる嘔吐毒セレウリドの分析・東京都・2008年5月
齋藤憲光(2008)・2008韓国環境分析学会・日本における有機フッ素化合物汚染・ソウル市・2008年5月
佐々木 陽 木質炭化学会「各種炭化物による水中微量有害物質の吸着」弘前市 6月19日(木)
佐々木 陽 木質炭化学会「コーンコブ・クレー複合炭化物の調製とその吸着特性」弘前市 6月19日(木)
佐々木和明(2008)・日本環境化学会 第17回環境化学討論会・LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究・神戸市・2008年6月
八重樫香(2008)・日本環境化学会 第17回環境化学討論会・LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究・神戸市・2008年6月
梶田弘子、畠山えり子(2008)・第96回日本食品衛生学会・ポリマーゲルカラムを用いた LC/MS/MSによる畜産物中の PCs・TCs・AGs系抗生物質の同時分析・神戸市・2008年9月
佐々木和明(2008)・第11回水環境学会シンポジウム・産業廃棄物安定型最終処分場における有機フッ素系化合物の浸出傾向・大阪府・2008年9月
山内貴義, 齊藤正恵*, 小山田智彰(2008年)・日本哺乳類学会2008年度大会・ツキノワグマ( <i>Ursus thibetanus</i> )の新たな体毛回収装置の開発・山口・9月
齊藤正恵*, 山内貴義, 青井俊樹*(2008年)・日本哺乳類学会2008年度大会・クマによる被害農作物から加害個体を探る・山口・9月
近藤麻実*, 松井一*, 山内貴義, 齊藤正恵*, 八代田千鶴*, 山崎翔気*, 徳永佳三*, 浅野玄*, 鈴木正嗣*(2008年)・日本哺乳類学会2008年度大会・岐阜県におけるツキノワグマのヘアトラップ調査とその課題・山口・9月
西村貴志*, 山内貴義ほか(2008年)・日本野生動物医学会・偶蹄類のマイクロサテライトマーカーを用いたニホンカモシカ( <i>Capricornis crispus</i> )のDNA多型解析の検討・9月
佐々木和明(2008)・フッ素系界面活性剤研究キックオフ会議・水、大気、血液中の有機フッ素化合物の分析について・つくば市・2008年10月
菊池彰(2008)・フッ素系界面活性剤研究キックオフ会議・岩手県環境水におけるPFOS、PFOA汚染について・つくば市・2008年10月
八重樫香(2008)・第34回北海道・東北支部環境研研究連絡会議・雪谷川ダムの富栄養化に関する調査について・仙台市・2008年10月
齋藤憲光(2008)・2008釜慶大学国際シンポジウム・日本における有機フッ素化合物汚染・釜山市・2008年11月
佐々木和明(2008)・2008釜慶大学国際シンポジウム・環境中におけるペルフルオロオクタノエート(PFOA)およびペルフルオロスルフォネート(PFOS)の分析方法・釜山市・2008年11月
倉谷昌臣*, 大塚尚寛*, 齊藤貢*, 鳴海貴之*, 松本文雄(2008)・大気環境学会北海道東北支部学術総会・懸架式パッシブサンプラーによる大気モニタリングデータと大気環境常時測定データの比較・仙台市・2008年11月
前田琢(2009)・日本獣医師会学会年次大会・イヌワシの保全と獣医師への期待・盛岡市・2009年1月
小山田智彰・岩手植物の会総会講演・絶滅危惧植物の種の保存と地域遺伝資源としての新品種の開発・盛岡市・2009年1月
岩淵香織(2009)・保健福祉環境行政セミナー・QFTの検査状況について・盛岡市・2009年2月
松館宏樹(2009)・保健福祉環境行政セミナー・デンマークにおける食品媒介感染症サーベイランスシステムについて・盛岡市・2009年2月
佐々木和明(2009)・第8回日韓共同研究シンポジウム・有機フッ素化合物のモニタリング結果について・雫石町・2009年2月
菊池彰(2009)・保健福祉環境行政セミナー・産廃処分場の浸出水におけるPFOS、PFOA汚染について・盛岡市・2009年2月
小山田智彰・平塚明*(2008)・自然環境復元学会・アツモリソウの無菌播種による苗の育成と遺伝資源の活用・東京都・2009年2月
高橋悟 他(2008)・第43回日本水環境学会年会・産業廃棄物による環境影響と植物を活用した環境浄化・山口市・2009年3月

\*: Non-staff members